

## 「個別の指導計画」記入例10

特別支援学級に在籍する小学校2年生の記入例です。

交流学級と一緒に学習している教科については、交流学級の年間指導計画を参照するようにしています。

学年・組	2年組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名				平成 年4月～平成 年3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	身なりに関心を持つことができる。 学習や活動への意欲をもつことができる。 自発的に自分の意思を伝えることができる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	ボタンがとまっているか、上着がズボンの中に入っているかを気にかけることができる。 苦手な書く学習で、好きな題材に積極的に取り組むことができる。 調理などの楽しい活動を通して、友達に言葉で要求を伝えることができる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標	
教科 領域 等	日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>調子が良いときは、元気なあいさつができる。</li> <li>他のことが気になり、道具の片づけが中断することがある。</li> <li>一人で着替えようとする気持ちが強いが、手先の不器用さからあせってしまい、途中であきらめてしまう。</li> <li>トイレの使い方や手洗いが上手にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつの仕方やタイミングを教え、あいさつができるようになる。</li> <li>手順カードを見て、朝の片づけができる。</li> <li>着替えコーナーで、自分で着替えをすることができる。</li> </ul>
	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋内での作業を好む。</li> <li>野菜の成長を見るのが好きで、丁寧に収穫しようとする。</li> <li>料理に興味をもっている。</li> <li>人とのコミュニケーションにぎこちなさが感じられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>決められた作業に一定時間取り組むことができる。</li> <li>友達といっしょに料理を楽しむことができる。</li> <li>活動を通して、コミュニケーションの方法を理解する。</li> <li>社会生活のいろいろなルールを理解する。</li> </ul>
	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく見るように促すと、3文字以上の単語を読むことができる。</li> <li>平仮名を書くことに興味を示すが、文字の形を整えて書くことが難しい。</li> <li>興味のある内容であれば、10分程度集中して聞くことができる。</li> <li>親しい人との会話を喜び、短い文や単語で応じることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名の単語を読むことができる。</li> <li>生活場面でよく使う漢字を読むことができる。</li> <li>平仮名が正確に書ける。</li> <li>自分の名前の形を整えて書くことができる。</li> <li>本の読み聞かせを最後まで聞き、短い感想が言える。</li> <li>3語文以上の文を使って話ができる。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>数字を読むことができるが、計算は苦手である。</li> <li>数の多少を数字で記憶している。</li> <li>を描くことが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10までの数の合成分解ができる。</li> <li>30までの数の読み書きができる。</li> <li>100円までの金額がわかる。</li> <li>基本的な図形の模写ができる。</li> </ul>
	音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーの演奏が難しい。</li> <li>一人で音楽を聞いたり口ずさんだりすることを好む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級の音楽の授業に一人で参加することができる。</li> <li>簡単な曲をクラリーナで演奏することができる。</li> </ul>
	図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由に色を塗ったり、貼ったりすることを好む。</li> <li>真っ直ぐな線をはさみで切るなど、手を使って細かい作業をすることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな題材で造形活動を楽しむことができる。</li> <li>太い直線に沿って、はさみで真っ直ぐに紙を切ることができる。</li> </ul>
	体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>走ることは好きだが、上下や左右の揺れが苦手で、遊具での遊びを怖がる。</li> <li>縄跳びが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達や先生の援助を受けながら、通常の学級の体育の授業に参加することができる。</li> <li>苦手な運動にチャレンジすることができる。</li> </ul>
	道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉で理解する力があり、大人が教えたことは守ろうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級の道徳の授業に参加することができる。</li> <li>自分の長所を言うことができる。</li> </ul>
	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級での決まった仕事は、友達に助けをもらいながら行うことができる。</li> <li>行事への参加は援助が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級で係の仕事を行うことができる。</li> <li>友達の援助を受けて、行事に参加することができる。</li> </ul>
	自立活動	<p>&lt;生活面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢保持が難しいため、学習や運動が長続きしにくい。</li> <li>早起きが難しく、家族の車で登校している。</li> </ul> <p>&lt;行動面&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを言葉でどのように表現してよいか分からないため、人とのかわりが消極的になってしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝、自力登校できるようになる。</li> <li>適切な言葉で人と関わることができる。 (要求や応答、質問、他児との相互交渉)</li> </ul>

学年・組		2年組			氏名							
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日常生活の指導	・朝の準備(整理整頓、提出物) ・朝の会(健康観察、昨日の出来事、一日の予定) ・あいさつ ・係の仕事 ・手洗い、着替え ・帰りの準備 ・下校(安全な歩行)											
	活動の計画 畑作り 夏野菜の栽培・収穫・販売 ・調理 冬野菜の種まき → 収穫 販売 → 調理 ジャガイモの収穫 → 調理 さつまいもの苗植え → 収穫 → 調理 こどもの日 宿泊学習 セツ 節分 進級のお祝い											
国語	・自分の名前 ・3～5文字の単語の読み書き ・二語文の読み ・「ぐりとぐら」				・ひらがなの単語の読み書き ・三語文の読みと助詞 ・片仮名のことば ・「てぶくる」				・特殊音節の単語の読み書き ・いろいろな文の読みと助詞 ・片仮名のことば ・「そらいるのたね」			
域等	<数と計算> いくつと 足し算 切符を買 買い物 10のま お店やさ お小遣い 双六ゲーム(どちらが多い) 双六ゲーム(いくつかな)											
	<図形> 仲間集め 動物パズル 大きい小さい 同じ色 位置・形・方向 はめこみパズル											
音楽	・鍵盤ハーモニカ 交流学級の音楽の授業に参加する。				・クラリーナ				・リトミック			
図画工作	自己紹介カード こいのぼり 絵の具を使って 是さみ・のりを使って 型押し 校外学習の思い出 お楽しみ会の飾り 凧づくり 節分 卒業祝い											
体育	交流学級の年間指導計画参照 交流学級の授業に参加する。(担任が援助し、一人で参加できることを増やしていく。)											
道徳	元気なあいさつ		やさしい言葉		自分の得意と苦手		自分の仕事		いろいろな友だち		大きくなったよ	
	交流学級の道徳の授業に可能な範囲で参加する。 日常の学校生活のあらゆる場面で、实际的・具体的にくり返し指導する。											
特別活動	交流学級の係の仕事を行う。 → 学年の行事に参加する。 →											
自立活動	コミュニケーション指導 → 調理活動を通して、グループ学習を行う。 手と目の協応運動の指導 → 服の着替えの機会をとらえて、学習する。 →											

学年・組		2年 組	氏 名	指 導 記 録				
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評 価	
			目 標	内 容	方 法			
						指 導 の 経 過 と 評 価		検 討 課 題 (次学期に向けて)
日常生活の指導	朝の交通指導をしている校長にあいさつができる。	・数メートル手前から「おはよう」を言うことを伝え、構えを持たせる。 ・できなくても校長に笑顔で声をかけてもらう	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・校長先生に声をかけてもらうことが嬉しくて、言えることが増えた。	・教師の促しがなくてもあいさつができる手だてを検討する。	
	・援助を受けながら朝の片づけができる。	・片づけの手順カードを示す。 ・引き出しに、入れ方の絵を描いて貼っておく。 ・できたらシールを貼る。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・引き出しの中の絵は有効だった。自分で片づけができるようになった。	・荷物が多いときには、手順カードより声かけの方がよい。	
	・給食着や体操服の着替えの仕方を覚えることができる。	・給食着のたたむ位置に糸で目印を付ける。 ・着替えのコーナーを決める。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・糸の目印とくり返しの練習で、たたみ方を覚えた。 ・着替えコーナーで、着替えに集中できた。	・継続指導により、きれいなたたみ方の習得を目指す。 ・鏡を見て身だしなみを整えさせる。	
生活科	栽培・収穫 ・畑の作業を続けて行うことができる。 ・決められた作業を最後まで行うことができる。	・作業のやり方を事前にしっかり教える。 ・収穫などの楽しみを知らせ、見通しをもたせる。 ・缶1杯などのように作業量を明確に知らせる。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・野菜の収穫を喜び、靴や服の汚れも気にせず作業をした。 ・友達との共同作業で道具の貸し借りをすることができた。	・共同作業の際、教師の援助を少しずつ減らしていく。	
	販売 ・あいさつや会話をすることになれる。 ・100円以内のお金の計算ができる。	・質問や応答のパターンを教え事前に練習しておく。 ・計算機やレジ、補助具を使う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・販売する活動に意欲的だった。 ・何十円に設定した価格を、補助具で確かめることができた。	・様々なパターンのやりとりを練習する。	
	調理 ・調理具の使い方になれる。 ・調理活動を楽しむ。	・作業の手順を写真や絵のカードで示す。 ・作りたい料理をみんなで話し合っ決めて決める。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・収穫した野菜を使ってカレーライスを作った。皮むきが上達した。	・包丁の安全な使い方を練習する。	
領域等	買い物 ・バスの乗り方を理解する。 ・安全な歩き方ができるようになる。 ・メモを見て買い物ができる。	・事前に移動の仕方や適切な態度について教えておく。 ・自分でメモを作る。 ・透明の財布を使用し、千円を出しておつりをもらう活動をする。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・バスの中での態度は落ち着いていた。 ・教師に聞きながら品物を探し、買うことができた。	・校内でのごっこ遊び(模擬体験)を多く設定する。 ・家庭でも買い物に連れて行ってもらう。	
	・5文字までの単語の読み書きができる。 ・1年生配当の漢字を読むことができる。	・絵と文字と音を対応させながら、興味のある物の名称を使って練習する。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・「さつまいも」などの生活場面によく使う単語は読めた。 ・食べものの名称を学習に使うことで意欲的に取り組めた。	・促音、拗音、拗長音の読みの学習を増やす。	
	・平仮名の名前を2cm角のますに書くことができる。 ・「や、ふ、を、ね、む、え」が書ける。	・漢字九九を言いながら、書く練習をする。 ・なぞり書きや始点終点のポイントで援助する。 ・練習する文字を含む動物や食べものの言葉を使う。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・漢字を20文字読めるようになった。	・「ふ、を」などのいくつかの線を組み合わせた形をなぞり板などでしっかり学習する。	
国語	・絵本の読み聞かせを聞いて感想を言う。	・起承転結のわかりやすい読み物を選ぶ。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・「11びきのねこ」シリーズを気に入り最後まで聞くが、長い話は最後まで聞くことが難しかった。	・ペープサートや声の変化により興味を喚起する。	
	・昨日の出来事を文で表現する。	・話形を教え、「いつ」「だれ」「どこ」「何をした」が言えるようカードで示す。	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・ヒントカードを見ながら、「いつ」「どこ」などを意識して話すようになった。	・マイクの使用や録音などで興味を喚起する。	

学年・組		2年組	氏名	指導記録				
教科等	学期の指導目標	指導内容・指導方法・手だて等	指導の			指導の経過と評価	評価	
			目	内	方			
			標	容	法	検討課題 (次学期に向けて)		
算	<ul style="list-style-type: none"> <li>5までの合成分解ができる。</li> <li>10までの数の大小がわかる。</li> <li>50円までの金額がわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイルをつかって、数えながら学習する。</li> <li>数の多少を高さや長さ等、いろいろな表現で示す。</li> <li>本物のお金やレジ、計数のための補助具を使う。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>3までの合成分解はできた。</li> <li>10までの数の大小が理解できた。</li> <li>補助具を使い、10円玉を数えて金額を言うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4以上の数の合成分解の確実な理解を図る。</li> <li>貨幣の等価についての理解が必要である。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>1から9までの数字が書ける。</li> <li>との形を描くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>始点と終点を示し、言葉を添えて援助する。</li> </ul>	4	4	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>大きめの数字であれば、8、9以外は書けた。</li> <li>は描けた。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級の鑑賞や歌唱の学習に参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱の曲を事前に聞かせ、練習しておく。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌や音楽を聞くことを好み、30分間参加できた。</li> <li>ゆっくりだが、正しく演奏できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽器への抵抗を少なくして参加できる時間を増やす。</li> <li>他の楽器にもふれさせたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵盤ハーモニカで「かえるの歌」が演奏できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽譜と鍵盤に同じ色の色分けシールを貼る。</li> </ul>	4	4	4			
図画	<ul style="list-style-type: none"> <li>こいのぼりや七夕飾りを作ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄で切るための補助線の太さを段階的に示す。</li> <li>糊を付ける場所にしるしをつける。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>太マジックの直線に沿ってはさみで切ることができた。</li> <li>作業の目標を明確にすると意欲が増す。</li> <li>材料を扱いやすいように工夫したことで喜んで交流で活動できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助線が細い場合や曲線に沿って切るためのはさみや補助具の活用を勧める。</li> <li>交流学級での学習は喜ぶが、学年の教材ではできることが減ってきた。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年の教材を作成し学級で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難しい作業は個別に援助して作成し、できることは必要な準備をして交流で活動させる</li> </ul>	4	4	4			
身体	<ul style="list-style-type: none"> <li>援助を受けながら、交流学級の体育に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整列の場所をわかりやすく示す。</li> <li>活動の難易度を下げて参加させる。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の援助と交流学級担任が配慮することで参加できた。</li> <li>滑り台はできるようになったが、アスレチック遊具は難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況を見て活動の難易度を下げることが必要である。</li> <li>アスレチックをみんなで楽しむ中で遊具にも慣れさせる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と一緒に遊具を使って登ったり降りたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達に誘ってもらおう。</li> <li>難しいところは、教師がしっかりと支え、不安をなくす。</li> </ul>	4	4	4			
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをすることややさしい言葉を使うことの大切さがわかる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な話を使って、価値の内容を伝える。</li> <li>場面をとらえて指導し、できたことをほめて定着させる。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容を理解し、日常生活でも素直に聞き入れることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことを日常生活の行動に生かすための手だての工夫を検討する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学級でカレンダー係の仕事をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カレンダーをめくり、日付を言う仕事を事前に練習する。</li> <li>必要に応じて交流学級担任が援助する。</li> </ul>	4	4	4			
自立	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中から歩いて登校することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少しずつ車から降りる場所を遠くする。</li> <li>はじめは迎えに行き、援助する。</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>迎えに行くと、気持ちを切り替えて歩くことができた。</li> <li>徐々に歩く距離が長くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員があまり近づくのを嫌がるようになったので、一人で歩くようにさせたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>視線を合わせて要求することができる。</li> <li>作業交代を友達に申出ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホットケーキづくりの場面を設定し、要求や交代の仕方を学習する。(詳しい計画は別紙)</li> </ul>	4	4	4			
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中から歩いて登校することができる。</li> <li>視線を合わせて要求することができる。</li> <li>作業交代を友達に申出ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホットケーキづくりの場面を設定し、要求や交代の仕方を学習する。(詳しい計画は別紙)</li> </ul>	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の仲介や支援が必要だが、視線を合わせた要求や交代の申出ができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習得した行動を日常生活に般化させたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>途中から歩いて登校することができる。</li> <li>視線を合わせて要求することができる。</li> <li>作業交代を友達に申出ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホットケーキづくりの場面を設定し、要求や交代の仕方を学習する。(詳しい計画は別紙)</li> </ul>	4	4	4			